

## ベトナム溶接研究会 第 18 回研究会 (@ハノイ市)

勝又 美穂子

グローバル D&amp;I 推進室 准教授

2026年6月22日に第18回ベトナム溶接研究会を開催しました。今回は、第一部でレーザー技術に関する講演会を3件、第二部で2024年11月に開所し、本年6月に研究機材の導入が全て完了した接合科学研究所 HUST-UOsaka の各設備のデモ見学及び、日本電子 (JEOL) や OXFORD の技術者をお招きし、SEM/EBSD を利用した金属組織観察会を行いました。参加者は、企業・大学などから合計 25 名でした。

今回の研究会では、当研究所から田中教授、塚本教授、佐藤准教授が参加し、第一部の講演会では塚本教授から「青色レーザーによる金属の 3D プリンティング」と題して講演をいただきました。その他、レーザー技術に関し、レーザックス代表取締役社長、近藤氏からは「How to Safely Operate Handheld Laser Welding machine」と題し、ハンドヘルドレーザー溶接機の利用に関する安全性の正しい認識の必要性などについてご講演いただきました。更に、古河電気工業株式会社、営業統括本部レーザー応用事業部レーザー応用 1 部部長 日向氏からは「レーザー加工の原理と最新レーザー加工事例」と題し、レーザー技術の仕組みに関する詳しい講演を頂戴しました。

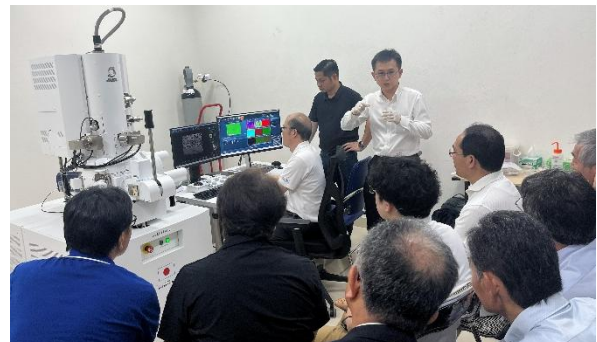
第二部は 2 つのチームにわかれ、1 つのチームは接合研 HUST-UOsaka に設置されたレーザー溶接

機、引張曲げ試験機、川田工業の 3D 溶接マスク、溶接ロボット、溶接シミュレーション計算機、などのデモンストレーションを見学しました。別のチームは、ハノイ工科大学本キャンパス内 C7 ビルに HUST-UOsaka 研究所として設置している SEM/EBSD による金属組織の観察を見学し、前半後半で入れ替わる形で進めました。この観察会のために、当日は日本電子 (JEOL) や OXFORD 社から技術者にお越しいただき、観察用サンプルの事前準備から当日の機械操作までご支援いただきました。観察用サンプルは、研究会開催にあたり、観察希望のある企業や大学の研究室からタイの JEOL 事務所へ送付いただき、観察に必要な研磨や事前処理を行った上で当日の観察会に臨みました。合金の結合状況、また製品の加熱・加圧処理前後の金属組織変化などを結晶レベルで見ることができ、大変興味深い観察会となりました。

今回の観察会へご支援いただいた日本電子、OXFORD 社の皆様、またサンプルを提供いただきました企業・大学研究室の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。また、大変暑い時期の開催にも関わらず多くの参加者にお集まりいただきましたことにも、改めて厚く御礼申し上げます。



上：第一部講演会後の集合写真



右：第二部 SEM/EBSD 観察会の様子